

## アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[ 金沢市立四十万小学校 ] 担当教諭[ 余川 慶 ]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[ 6年 2組 31名][ 年 組 名][ 年 組 名]			
実施期間: 22年 9月 ~ 23年 3月			
交流:無・有 国名[ イスラエル ] 学校名[Ahmad Sameh School] 学年[ ] 担当教諭[ Ahmad ]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	総合	世界の人と手をつなごう	51
	学活	みんなで協力することの大切さ	10

■作品について教えてください。

題(テーマ)	私たちの住む場所の美しい自然
絵に込めたメッセージ	私たちが住む国や地域、町にある、美しい自然を互いに知りましょう。 そしてそんな美しくて貴重な自然を、私たちの手で守り伝えていきましょう。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	1 0月	過去の取り組みの紹介から、アートマイル活動の見通しをもつ	外国と交流して1枚の大きな絵を仕上げるという活動に興味をもち、意欲をもって取り組みたいという姿勢の児童が多数見られた。	総合 学活
情報収集	1 1月	交流相手の東エルサレムについて、インターネットを中心に調べる	12月の学習発表会で東エルサレムのことを全校に紹介したいというところからスタート。なかなか情報がない中、難しい内容をできるだけわかりやすい言葉にしてまとめていた。	総合 学活
テーマ検討	1 1月	絵のテーマを何にするか、お互いにどんなことを絵にしたらいいか考える	金沢の伝統、自然、平和や友好などいろいろなテーマがあったが、遠足で訪れた兼六園や金沢城公園の美しさを伝えたいという意見にみんなが賛成し、それを中心テーマにして他の児童から出たアイデアも盛り込んでいこうという流れになった。	総合 学活
制作	1 2月	下書き→色つけ 下書きは休日に有志を5・6名募った。その絵にクラス全員で色をつけた。色塗りはクラスを3つに分けて10人ずつくらいで交代して塗っていった。	下書きには意欲的な女子児童が志願してくれた。その子たちは活動への意識も高く、絵が完成するまで積極的に参加していた。他の児童も色塗りの作業が楽しい様子で、友達と協力しながら楽しく進めることができていた。	総合 学活
鑑賞	3月	相手が描いてくれた部分の解釈をして、絵全体のテーマ性が表れているかクラスで意見を出し合った。	相手の絵がとても上手だという意見が多く、とても喜んでた。完成した絵も作品としてテーマが感じられるものになっており、児童たちも満足していた。	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	3	5・④・3・2・1	英語で話す良い経験となった。しかし一方的な伝達に終わった児童も多く、コミュニケーションをとる難しさも実感した。
情報活用能力(収集・発信)	5	5・④・3・2・1	相手の国の文化や習慣について、インターネットを中心に詳しく調べることができた。情報が少ない中パワーポイントにまとめて発表できていた。
人間関係をつくる(交流相手・学級内)	1	5・④・3・2・1	交流相手とは温かい気持ちを違いに送ることができたと思える。学級内でも1つの目的に向かって協力し合う心が育った。
協同作業をする力(役割・段取り)	2	5・4・③・2・1	積極的に作業を進めたい児童とそうでない児童の温度差があった。
異文化の理解	4	5・④・3・2・1	相手の国の習慣、文化について個人で詳しく調べられた。また、発表用に調べたことを持ち寄って、さらに相手の理解を深めていた。
自文化の理解・自分を見つめる		5・4・③・2・1	絵のテーマにもあるように、自分たちの地域の美しい自然や歴史、伝統を再確認したり、新たに発見したりする機会がもてた。
表現力		5・4・③・2・1	調べたことを発表する力はついたと思える。学習発表会でも良い説明をする子がいた。しかし相手を意識したり、よりよい方法を考えたりするところまではなかなか見られなかった。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	相手のことをもっと知りたい、もっと交流したい、という意欲的な発言や行動が見られた。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	出来上がった絵がテーマに沿ったものになっているか、鑑賞会をした。また、虹をつなげてくれたことなどを嬉しく感じている子も多かった。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
テレビ会議での交流では、英語でコミュニケーションをとるという初めての経験だった。不安に思う児童がほとんどだったが、伝えたいことを英文に直し、がんばって伝えようとしていた。また、互いに温かな反応を返すというコミュニケーションの根幹部分を実体験できたことが大きな収穫だった。	コミュニケーションが成立したといえる機会は数えるほどしかなく、ほとんどが一方的な伝達に終わってしまった。言葉の問題もあるが、普段からの姿勢がそうさせてしまったのだと反省もした。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
自分のクラスでは、絵について直接的に全校に紹介するということはできなかった。保護者へは学級通信を通して、計	保護者からは、クラス一丸となって1つの大きな絵を完成させるというプロジェクトをすることに応援する声が届いた。ま

<p>画、作業中、完成、交流の様子などを伝えた。</p>	<p>た、異文化交流に賛成して、いい経験になっているという声も多数聞こえてきた。</p>
------------------------------	--

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

初めての経験でわからないことがたくさんあったので、もっとこうしたら良かった、と思うことがたくさんあった。自分ができなかったこととして、ぬいぐるみを使った留学生の交換、交流相手の中でも個人個人に交流する相手を決めて、もっと親密な交流をしていく、ということが挙げられる。